

(大田区SDGs推進会議資料)

川崎重工のSDGs実現に向けた取組み

2025年7月24日

川崎重工業株式会社

企画本部 経営企画部

安部 崇嗣

 **Kawasaki**
Powering your potential



カワる、
サキへ。
Changing forward

自己紹介



所属：川崎重工業株式会社
企画本部 経営企画部

役職：特別主席（担当部長）

氏名：安部 崇嗣（あべ たかし）

経歴：2005年入社 技術開発本部配属
2019年経営企画部異動

出身：兵庫県

川崎重エグループの源流

創業者



川崎正蔵

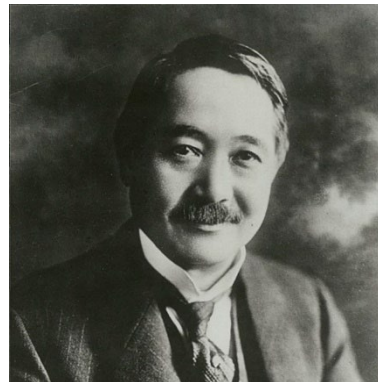
1878年
東京築地に
川崎築地造船所を開設

構造が脆弱で
海難事故が多い和船
(正蔵自身も二度も遭難)



信頼性の高い
西洋型船の建造

初代社長

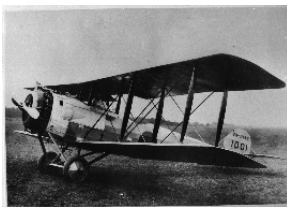
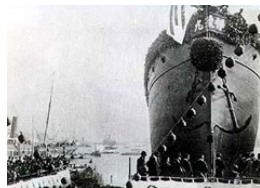


松方幸次郎

1896年
株式会社川崎造船所を設立
初代社長に就任

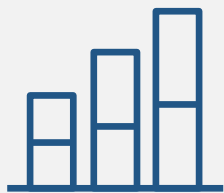
川崎重工の歩み

- 1878年 創業者川崎正蔵が川崎築地造船所(東京)を創設、**近代的造船業**の第一歩
- 1911年 国産化第1号の蒸気機関車完成、**日本の鉄道普及に貢献**
- 1918年 **空の時代**が来ることを予想した、航空機事業への参入
- 1926年 **交通インフラ**として東京市の永代橋を施工
- 1954年 **新たなライフスタイル**、モータサイクル事業への参入
- 1968年 労働負担を軽減する**自動化社会**を見据え、ロボット事業開始
- 1981年 わが国初の**LNG運搬船**を引渡し



川崎重エグループの今

売上収益



21,293 億円 (2025年3月末)

事業利益



1,431 億円 (2025年3月末)

従業員数



40,610 人 (2025年3月31日現在)

川崎重エグループの紹介

移動のFunに貢献



パワースポーツ&エンジン
28.6%

社会インフラ構築・生産性向上等に貢献



精密機械・ロボット
11.3%

日本の安全・安心への貢献



航空宇宙
26.7%

人の安全・安心な移動に貢献



車両
10.4%

エネルギー安全保障・安定供給に貢献



エネルギーソリューション&マリン
18.7%

その他事業
4.2%

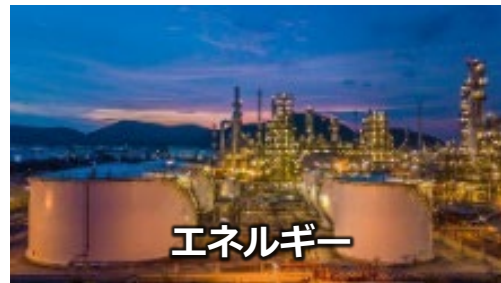
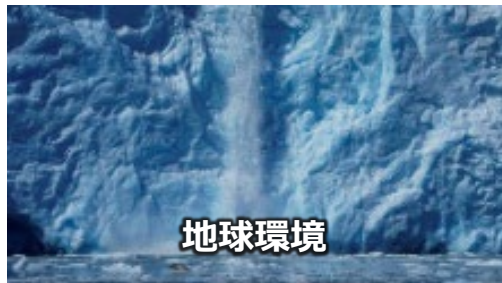
2024年度
連結売上収益
21,293億円

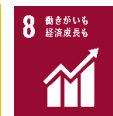
グループビジョン2030

つぎの社会へ、信頼のこたえを

Trustworthy Solutions for the Future

社会課題



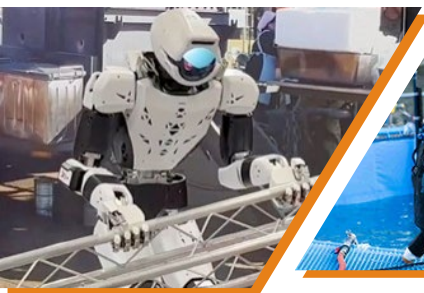
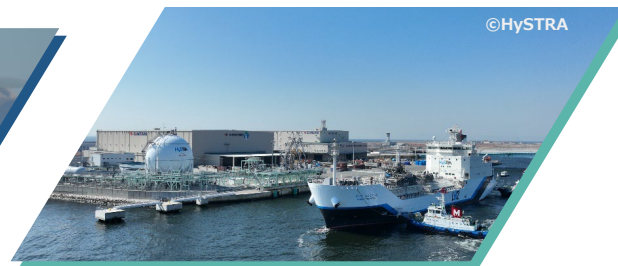
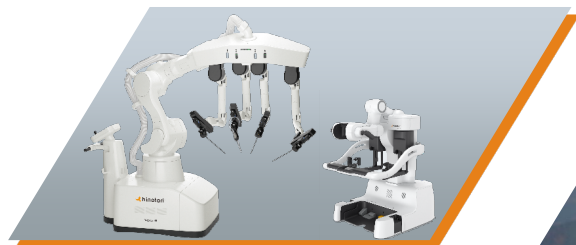


注力する3つのフィールド

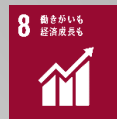
安全安心リモート社会

近未来モビリティ

エネルギー・環境ソリューション



安全安心リモート社会



医療・ヘルスケア



介護



防衛



防災



産業インフラ



ものづくり



食料安全保障



- 医療分野におけるロボット導入による労働人口不足解消

屋内配送用サービスロボット「フォーロ」

「FORRO」

動画
80s



● 介護施設への適切な介護機器やロボット導入支援（介護士の負担軽減）

屋内位置情報ソリューション



「ヒト/モノ/設備の動きの見える化」
設置済Wi-Fi電波による位置測位



OR



専用スマホアプリ

ロケーター

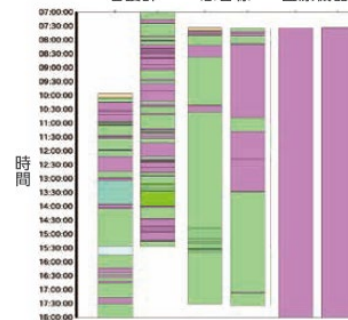


※ある施設での実例をもとにしたイメージ図

施設内ヒトの位置軌跡のヒートマップ



看護師 患者様 医療機器



※ある施設での実例をもとにしたイメージ図

ヒト/モノの場所とタイムライン

● 産業用ロボット普及による製造業の遠隔化支援

労働人口減少

熟練者の引退に伴う
技能の消滅

安全・快適な
労働環境要請

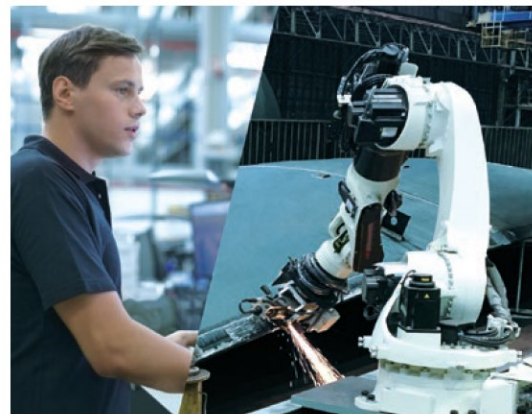
3K作業からの解放

少量多品種
対応

フレキシブルな
生産体制の実現

Successor[®]

遠隔協調で
新たな働き方を実現



遠隔地からのロボット操作

- 産業用ロボット普及による製造業の遠隔化支援

塗装作業



動画
8s

グラインダー作業

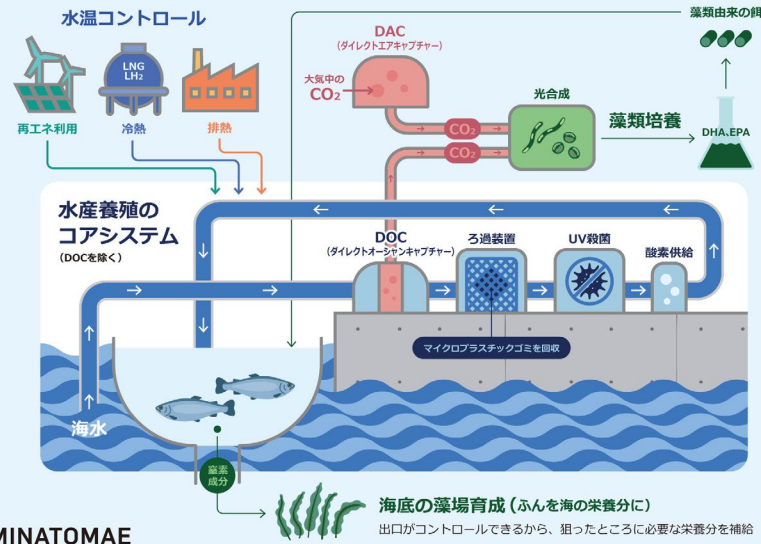


動画
15s

● 食料安全保障への貢献

海を美しく、海を豊かに、そして新鮮な魚を届ける

魚を提供するだけではなく、
海と地球にやさしいプロジェクト



神戸港海域でトラウトサーモンの育成試験を実施
およそ850尾（1尾あたり平均2kgサイズ）の飼育に成功
都市近郊での持続可能な海面養殖実現に向けた重要な成果



近未来モビリティ



新しい輸送手段



新しい移動手段

豊かでスマートかつシームレスな
移動が可能な社会



- 物流における労働人口不足解消、自然災害時の物流・交通手段の遮断解消

物資輸送飛行



動画
130s

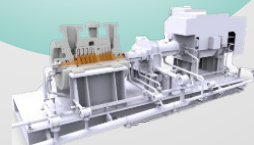
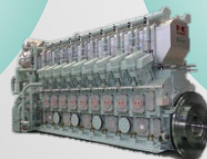
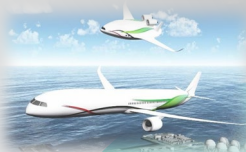
エネルギー・環境ソリューション



エネルギー安全保障

カーボンニュートラル
社会の実現

水素・CCUS
ソリューションの
社会実装



様々な観点から水素の役割は重要となっています

①脱炭素に貢献

使用時にCO₂ 排出しない。
電化が困難な分野にも脱炭素化。

②エネルギー安全保障

様々な方法により製造が可能。
国内はもとより、世界のどこからでも調達が可能

③安全性

毒性もなく、正しく使えば他のエネルギーと
取り扱いは変わらない。

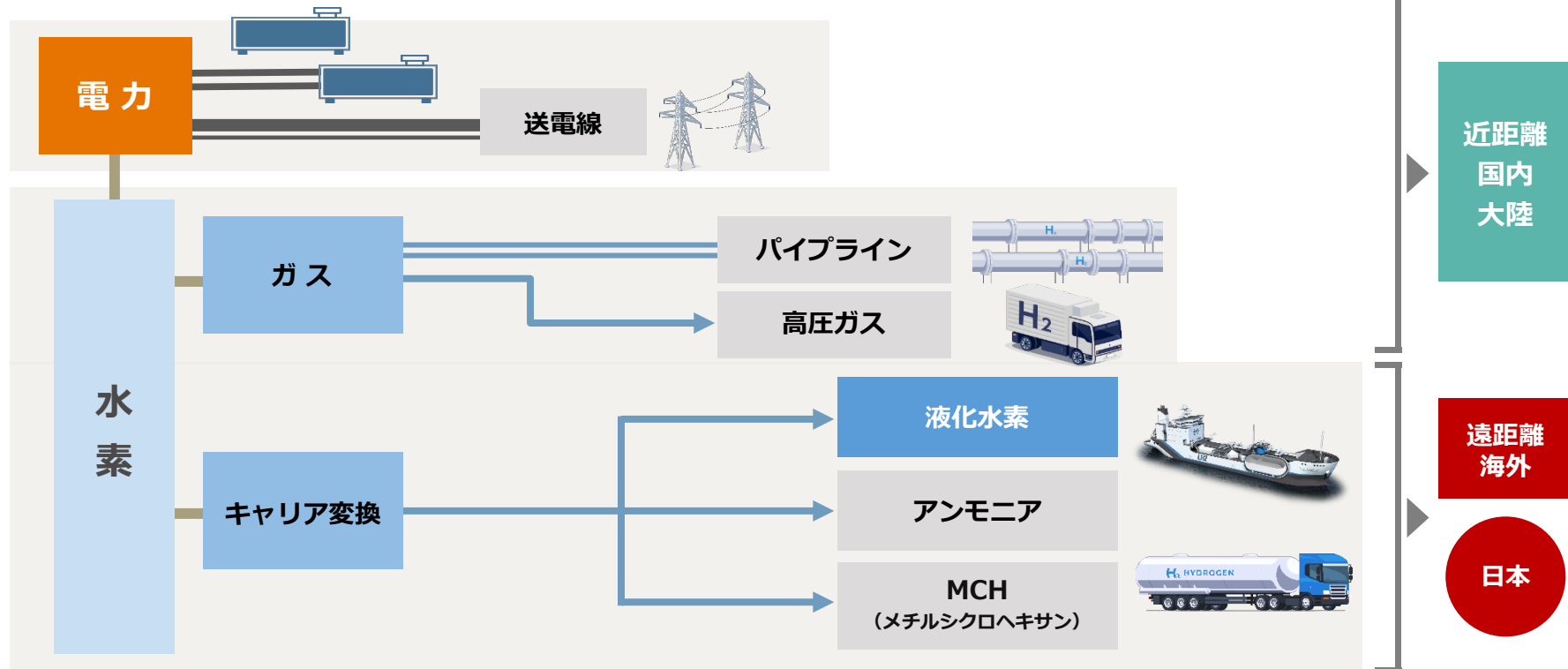
④産業・経済の成長に寄与

水素産業は黎明期で、
自国産業のポテンシャルは大きい。

エネルギーは使用用途によって、様々な選択肢がある

蓄電池

- 1 一定以上の規模になるとバッテリーは、巨大になる
- 2 バッテリーは直流しか貯められない



注：高圧ガスとは、高圧ガス保安法により「常用の温度で圧力が1MPa（メガパスカル、約10気圧）以上になるもの」と定義

大量の水素を つくる・はこぶ・ためる・つかう

大規模水素サプライチェーンの構築をめざす。

製造 -つくる-

輸送 -はこぶ-

貯蔵 -ためる-

利用 -つかう-

水素製造

水素液化

液化水素積荷

液化水素海上輸送

液化水素揚荷・貯蔵

水素利用

エネルギー・環境ソリューション

● 水素サプライチェーン構築に向けた実証推進

2021年

パイロット実証



提供：HySTRA

液化水素タンク：1,250m³/基



液化水素タンク：2,500m³/基



水素製造と長距離海上輸送の成立性を実証
（商用レベルの約1/100の規模）

～2030年

GI基金
事業

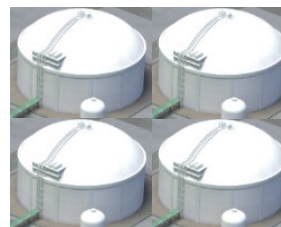
商用化実証



機器サイズを大型化し、
商用化の成立性を見極める

2031年～

商用チェーン



経済的に自立し、
利益を生むビジネス

国際水素サプライチェーン：パイロット実証の完遂

2022年2月

世界初の液化水素国際間輸送を実現

液化水素運搬船「すいそ ふろんていあ」は国内外から高い関心を集める

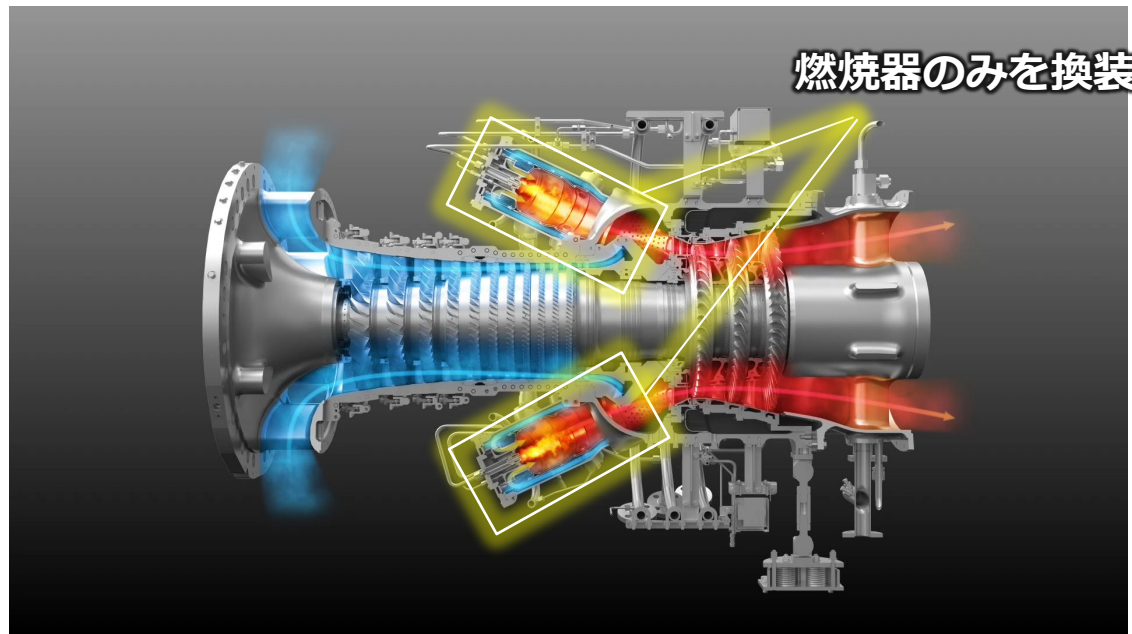


● 水素サプライチェーン 商用化実証に向けて

神奈川県川崎市（扇島）に
大規模水素荷役基地を建設

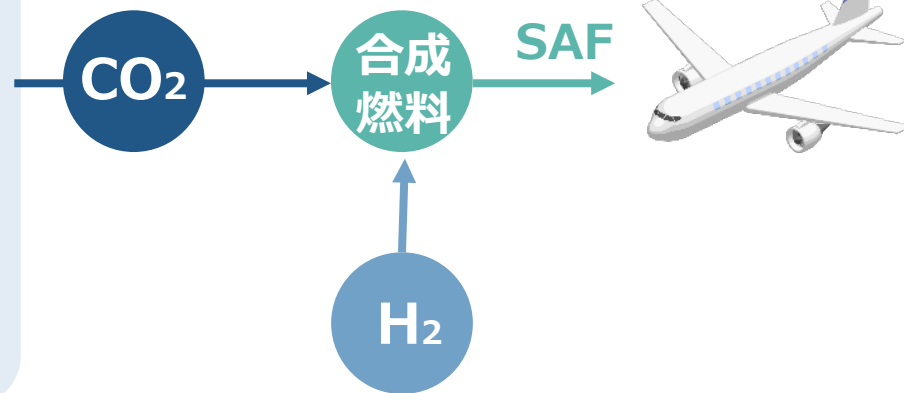
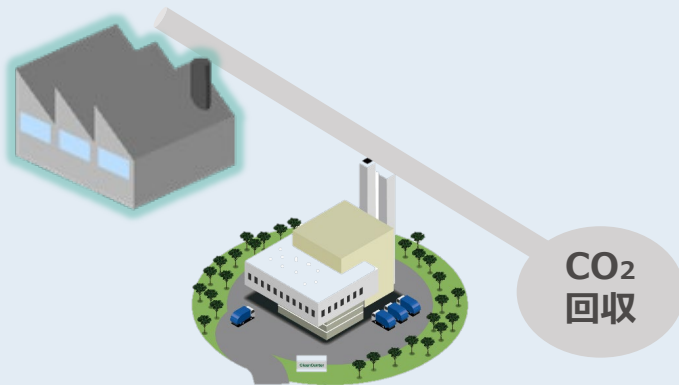


- カーボンニュートラルに向けたトランジション期に活躍する製品の普及



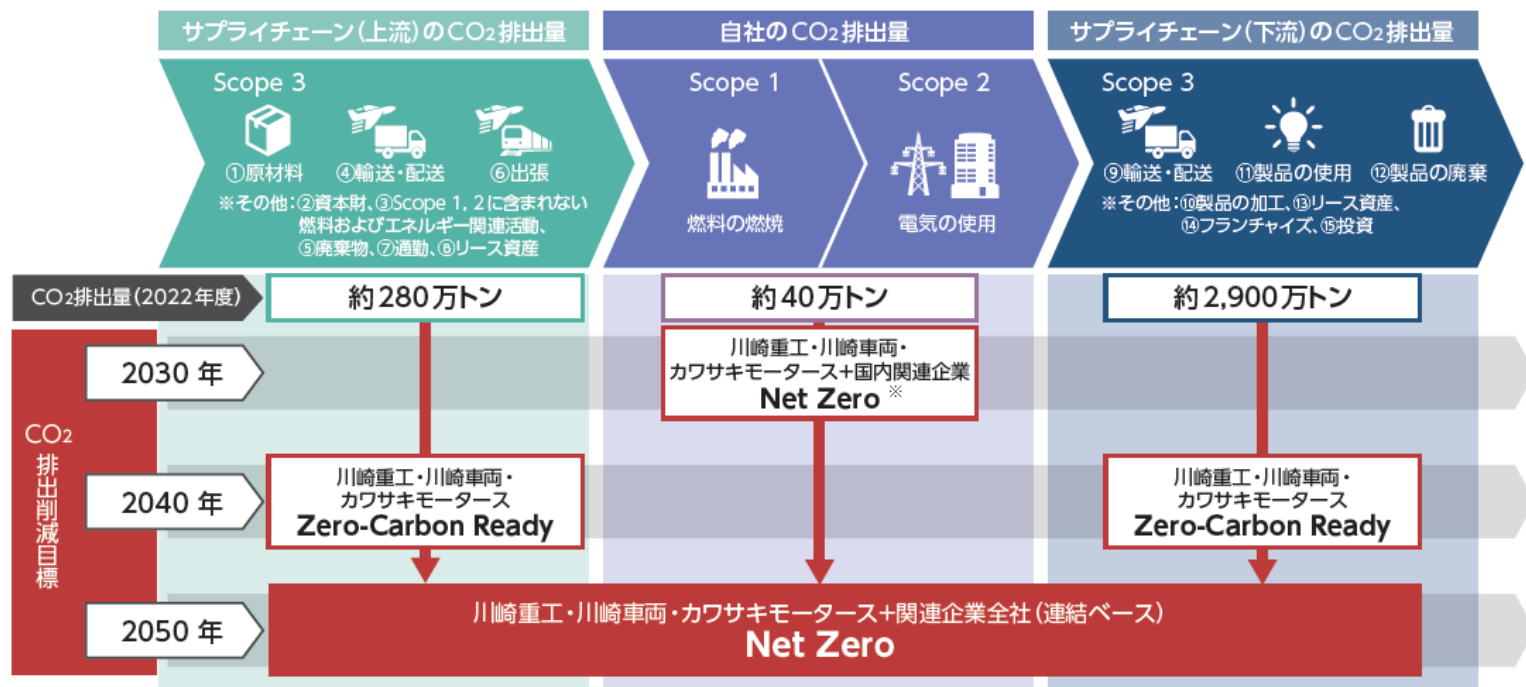
- CO₂分離回収・利活用に関するソリューションを社会実装

ごみ焼却場・工場の排ガス、大気等からCO₂回収



CCUS : Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage

当社のカーボンニュートラル目標



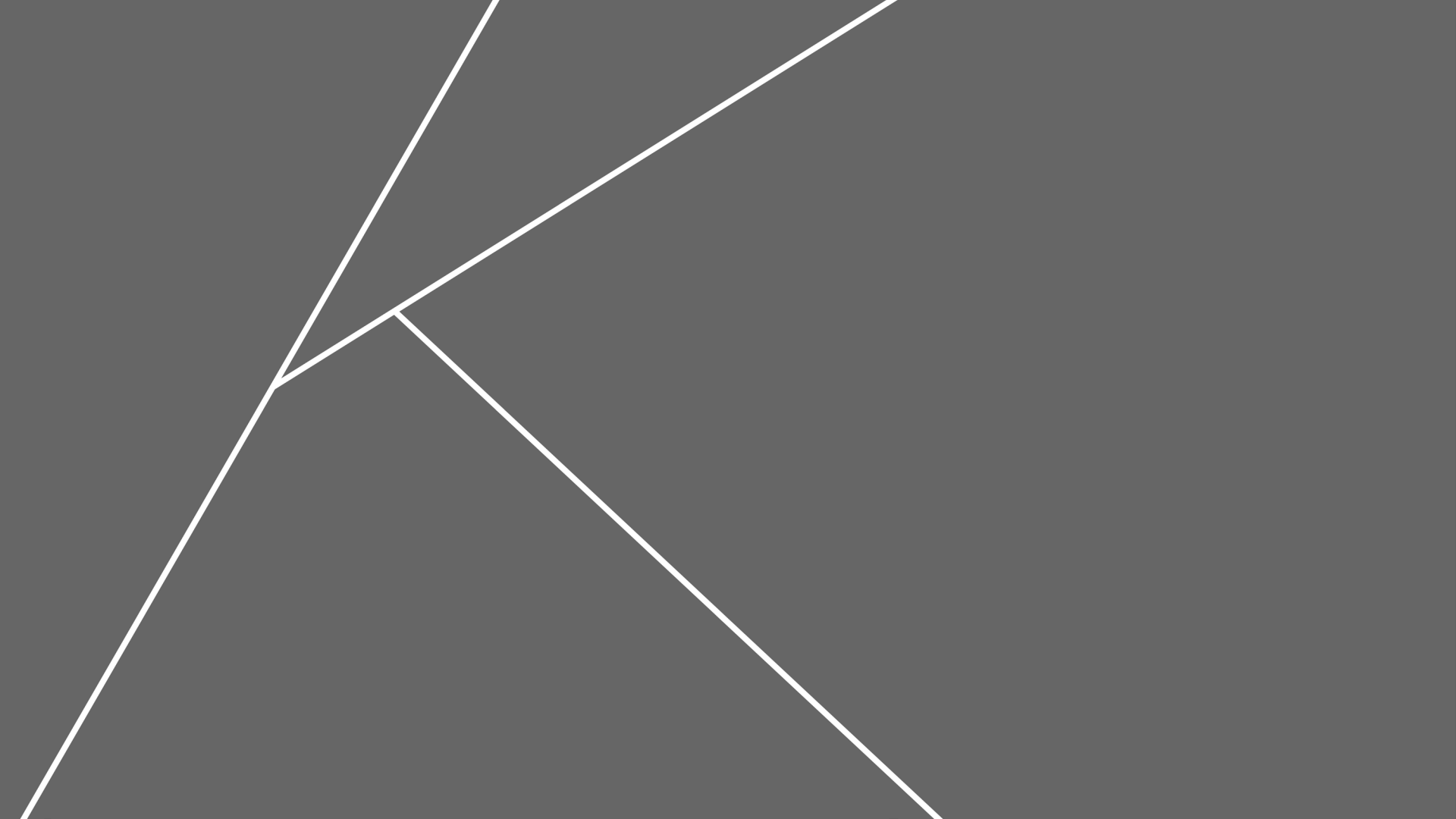
※昨今のエネルギー市場におけるLNGへの回帰傾向や主要パートナーの状況等を踏まえ、カーボンニュートラルの実現時期について見直しを進めています。

当社のカーボンニュートラル目標

● 環境配慮製品の積極的な展開を推進



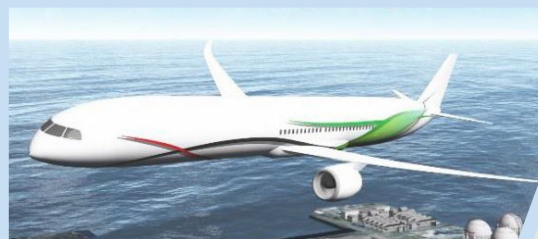
https://www.khi.co.jp/sustainability/environment/performance/eco_products.html





KAWARUBAの事業テーマ

水素・カーボンニュートラル

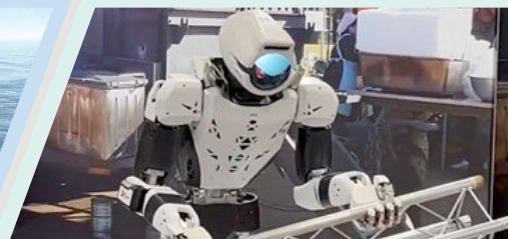


脱炭素社会の実現に向けた、
近隣の実証の場を活用

》》 地域に根差した社会実装を推進

CO-CREATION PARK
KAWARUBA

ソーシャルロボット



介護、ビル管理、空港管理など、
具体的なソーシャルロボットの用途開発を実施

》》 ヒトとロボットが共生する社会実装を推進

大阪・関西万博に出展
川崎重工業グループが描く「未来の移動」

テーマ

EXPO 2025

ひとには「移動することによって幸せを感じる」仕組みが
遺伝子レベルで組み込まれているという研究結果がある。
そこで川崎重工業グループは、ひとのDNAには幸せを感じるために
移動しようという「移動本能」が存在すると考えた。



© Expo 2025



特設サイトURL
<https://www.khi.co.jp/expo2025/>

CORLEO



CONCEPT 01 4脚型オフロードモビリティ

SNSで、CORLEO関連投稿の
総閲覧数が、1週間で**1億回超え**！

CONCEPT 02 新しい公共交通システムの形



CONCEPT 03 水素発電機 OCUVOID HYDROGEN GENERATOR

大阪・関西万博：CORLEO

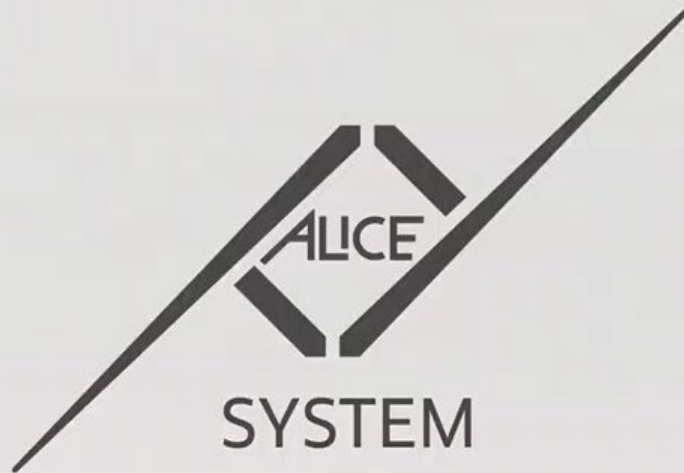
動画
70s



大阪・関西万博：ALICE SYSTEM

動画
96s

“ALICE SYSTEM”



SDGsおおたゴールドスカイパートナー
の一員として

SDGs達成に貢献



SDGs おおた
ゴールドスカイパートナー認定証

川崎重工業株式会社 様

SDGs おおたゴールドスカイパートナーとして
認定し、ここに証します。

認定期間：令和7年7月1日から令和10年6月30日まで

大田区長 鈴木晶雅



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

New Values



安全安心リモート社会



近未来モビリティ

つぎの社会へ、
信頼のこたえを

Trustworthy Solutions
for the Future

エネルギー・環境ソリューション



Cross Over

Frontier